



2015年2月期第1四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス (3063)

2014年7月23日



目次

1. 第1四半期連結決算概要

連結損益計算書概要	-----	4
連結貸借対照表概要	-----	5
セグメント別業績概況	-----	6
飲食事業の業態分析	-----	7

2. 第1四半期トピックス

新業態「The Oyster Bar」が好調	-----	9
サンクスマインド店舗のリニューアル	-----	10
サンクスマインドの黒字化を実現	-----	11
既存店収益状況	-----	12
第1四半期の出店状況	-----	13
店舗数の推移	-----	14

3. 今後の取り組み

第2四半期以降の出店状況	-----	16
コスト改革の進捗状況	-----	17
今期の業績見通し	-----	18



1. 第 1 四半期 連結決算概要



連結損益計算書概要

(百万円)

	2014年2月期 第1四半期実績		2015年2月期 第1四半期実績		前年同期比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)	
売上高	2,758	100.0	3,350 ①	100.0	121.4
売上原価	848	30.8	1,016	30.3 ②	119.7
売上総利益	1,910	69.2	2,334	69.7	122.2
販売管理費	1,924	69.7	2,304	68.8	119.8
営業利益または 営業損失	△13	—	29 ③	0.9	—
営業外収益	31	1.2	20	0.6	65.6
営業外費用	17	0.6	24	0.7	139.3
経常利益	0	0.0	25	0.8	—
特別利益	—	—	—	—	—
特別損失	8	0.3	0	0.0	4.7
税金等調整前四半期純利益 または純損失	△7	—	25	0.7	—
四半期純利益 または純損失	△12	—	8	0.3	—

①前期の積極的な出店、M&A 等により売上高は順調に増加。前年同期比で 121.4% となり、第1四半期としては2年連続で過去最高の売上高を達成。

②飲食事業単独での原価率は 26.9% となり前年同期比 0.4 ポイントの増加。新規出店の集中により原価が増加する中、原価低減への取り組みにより原価率の上昇を抑制。

③多くの新規出店・リニューアルを実施した費用を、売上高の増加分で補い、黒字化を達成。

連結貸借対照表概要

(百万円)

	2014年2月期 期末	2015年2月期 第1四半期末		2014年2月期 期末	2015年2月期 第1四半期末
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	1,321	1,803	流動負債	2,134	2,979
現金及び預金	708	960	買掛金	264	583
売掛金	267	415	短期借入金 <small>※一年内返済予定長期借入金との合計</small>	818	939
たな卸資産	80	94	その他	1,050	1,456
その他	265	332	固定負債	3,541	3,825
固定資産	6,375	7,031	長期借入金	3,012	3,323
有形固定資産	4,955	5,419	その他	528	502
建物及び構築物	3,004	3,333	負債合計	5,675	6,805
土地	1,428	1,428	【純資産の部】		
その他	522	657	株主資本	2,056	2,057
無形固定資産	31	64	資本金	1,068	1,068
投資その他の資産	1,388	1,547	資本剰余金	998	998
繰延資産	8	7	利益剰余金	64	65
資産合計	7,706	8,842	自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△26	△23
			新株予約権	—	3
			純資産合計	2,030	2,037
			負債純資産合計	7,706	8,842

セグメント別業績概況

(百万円)

		2014年2月期 第1四半期実績	2015年2月期 第1四半期実績	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	2,383	2,992	125.6	前期の積極的な出店、M&A および 既存店も堅調に推移したことにより 売上高、利益ともに順調に増加。
	営業利益	62	152	241.4	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	264	265	100.2	引き続き受注は順調に推移し、 安定した売上高・利益を計上。
	営業利益	28	28	100.2	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	369	409	110.8	「ダイヤモンドウェイ」や 「G-SEVENS 刈谷」などのテナント 収入は引き続き堅調に推移。
	営業利益	35	35	100.7	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	208	197	94.6	原価低減の一環として、始めた 物流センターが本格稼働。 仕入先の集約化・変更も含めて 様々な施策を実行中。
	営業利益	9	6	70.5	
調整額	売上高	△467	△514	—	
	営業利益	△149	△193	—	
連結財務諸表 計上額	売上高	2,758	3,350	121.4	
	営業利益	△13	29	—	

飲食事業の業態分析

(百万円)

業態区分		2014年2月期 第1四半期実績	2015年2月期 第1四半期実績
居酒屋業態	売上高	1,902	2,183
	営業利益 (本部経費配賦前)	208	286
レストラン業態	売上高	372	419
	営業利益 (本部経費配賦前)	29	58
カフェ業態	売上高	—	258
	営業利益 (本部経費配賦前)	—	15

※出店する業態構成の変遷に伴い業態分類を変更したため、カフェ業態の前期の数値は記載されておりません。

※前期までの分類による「レストラン業態」「SC業態」を統合して、新たに「レストラン業態」に分類しております。

2. 第1四半期トピックス



新業態「The Oyster Bar」が好調



4月にオープンした新業態「The Oyster Bar」の業績が神戸、静岡ともに好調。日本かきセンターを通じた、安全・安心な旬の牡蠣や、自慢のシーフード料理をワインとともに提供し、通常の居酒屋業態よりも客単価は向上。好調な業績を背景に、今期新たに2店舗を開業予定（新規1店舗、リニューアル1店舗）

サンクスマインド店舗のリニューアル

既存2店舗を
リニューアル

既存店舗の恵まれた立地を活かすためリニューアルを実施
サンクスマインド保有業態へ転換することで店舗従業員の
リニューアル後のオペレーションは早期に習熟が可能



沖縄料理 あしびな～道玄坂店



大釜ごはん 銀のつぶら



Bistro Grill
TODOS

TODOS 渋谷道玄坂店

Bistro Grill
TODOS

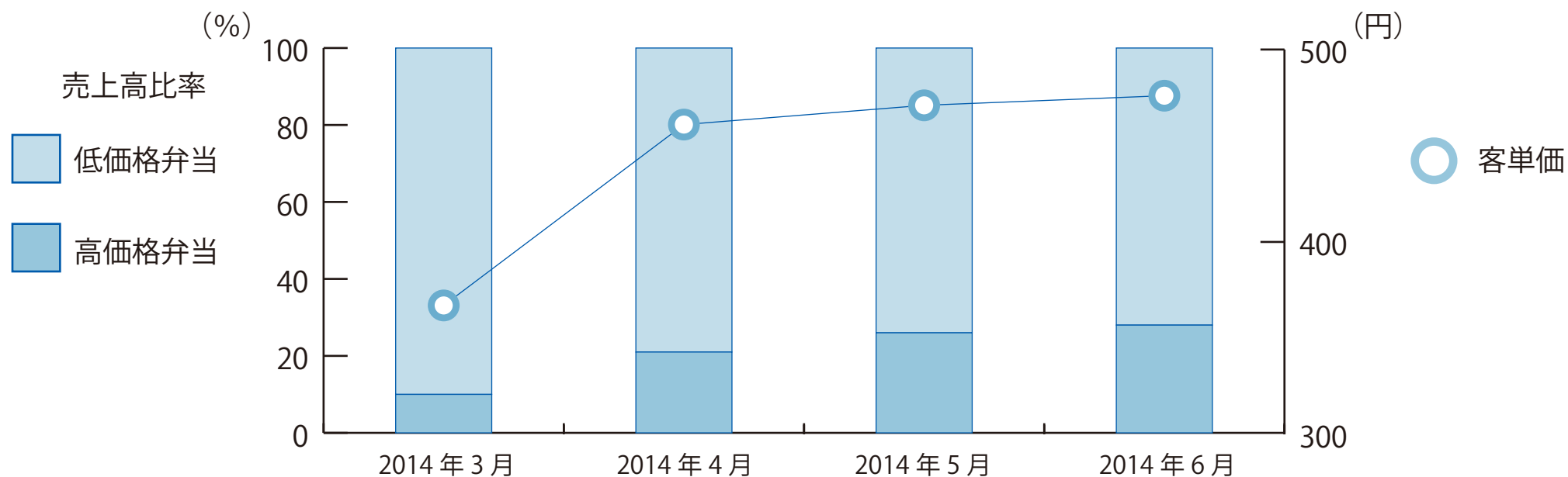
TODOS コレット・マーレみなとみらい店

既存店舗の収益力を改善

サンクスマインドの黒字化を実現

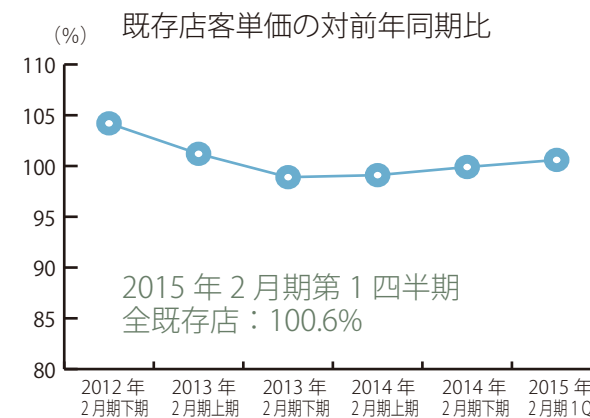
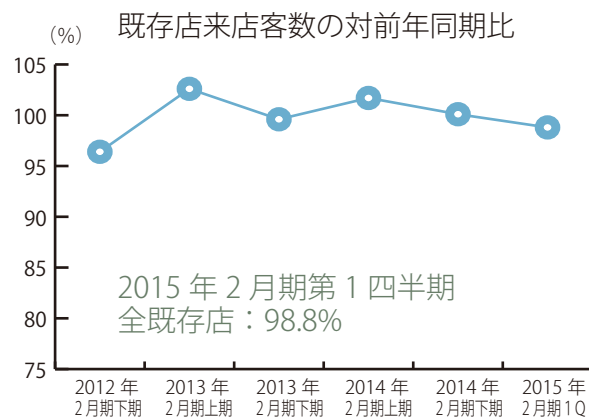
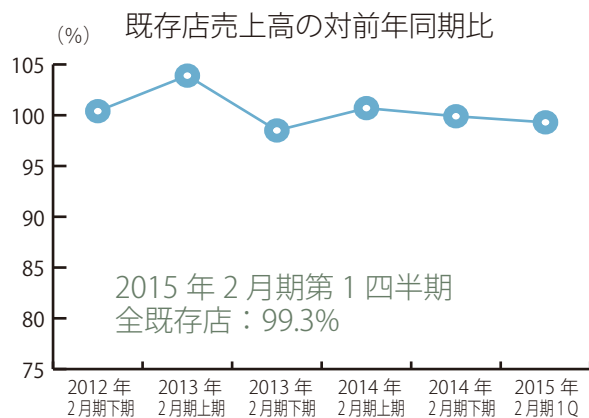
弁当事業 を改善

サンクスマインドの利益圧迫要因であった弁当事業を改善
高価格帯の弁当へ注力することで客単価が大幅に増加



弁当事業の収益力が改善し
サンクスマインド全体で黒字化を実現

既存店収益状況



		2013年						2014年		2014年2月期実績				2015年2月期第1四半期実績	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	96.8%	101.4%	99.0%	97.7%	94.8%	101.4%	98.9%	101.8%	97.3%	99.3%	97.5%	100.5%	99.7%	99.2%
	来店客数前年同月比	98.3%	100.4%	100.5%	97.7%	94.5%	101.2%	98.5%	101.3%	97.9%	99.8%	97.3%	101.2%	100.9%	99.7%
	客単価前年同月比	98.4%	101.0%	98.5%	100.0%	100.3%	100.2%	100.4%	100.4%	99.3%	99.6%	100.2%	99.3%	98.8%	99.5%
レストラン業態	売上高前年同月比	105.1%	98.9%	101.6%	102.7%	102.5%	108.5%	108.2%	106.2%	100.3%	104.2%	103.6%	95.6%	100.1%	100.0%
	来店客数前年同月比	106.5%	99.7%	101.9%	104.0%	103.9%	106.6%	104.2%	104.6%	98.3%	103.4%	99.7%	94.7%	95.1%	96.6%
	客単価前年同月比	97.3%	98.4%	100.3%	97.9%	98.9%	102.0%	103.5%	99.1%	100.9%	100.3%	103.9%	101.0%	105.3%	103.5%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

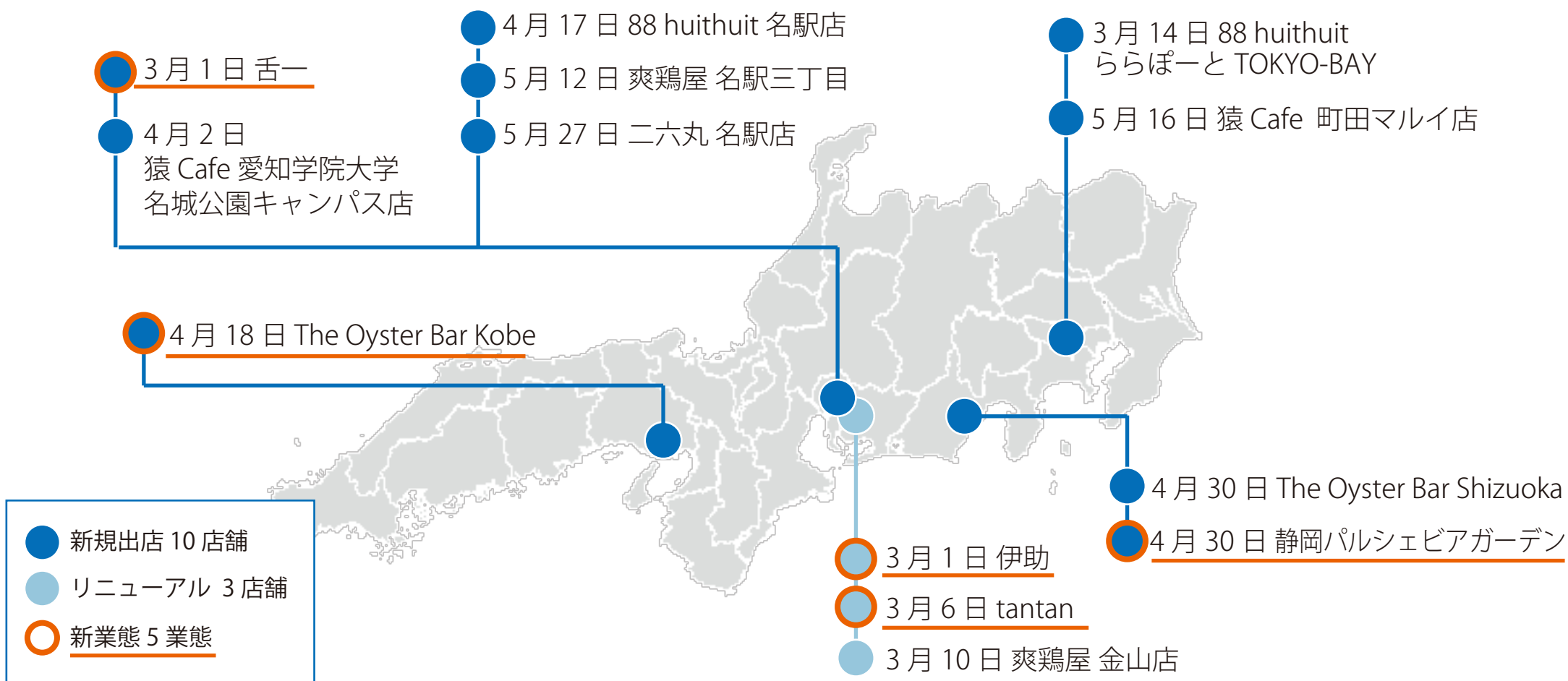
※カフェ業態は24か月経過した店舗がないため表記しておりません。

※前期までの分類による「レストラン業態」「SC業態」を統合して、新たに「レストラン業態」に分類しております。

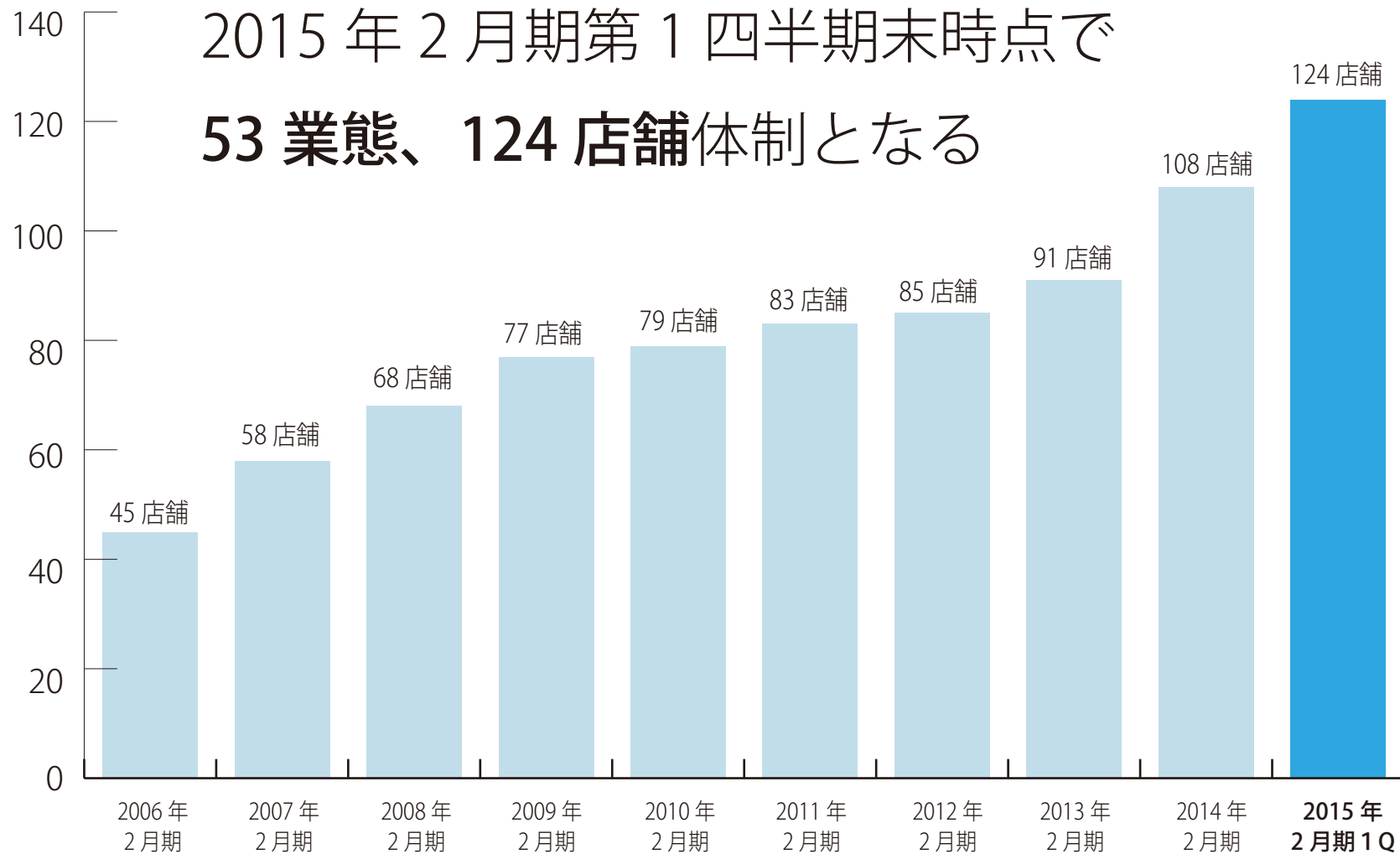
第1四半期の出店状況

新規出店等

1. 第1四半期に新規出店 10 店舗、リニューアル 3 店舗
2. サンクスマインドの子会社化によりさらに 6 店舗増加



店舗数の推移





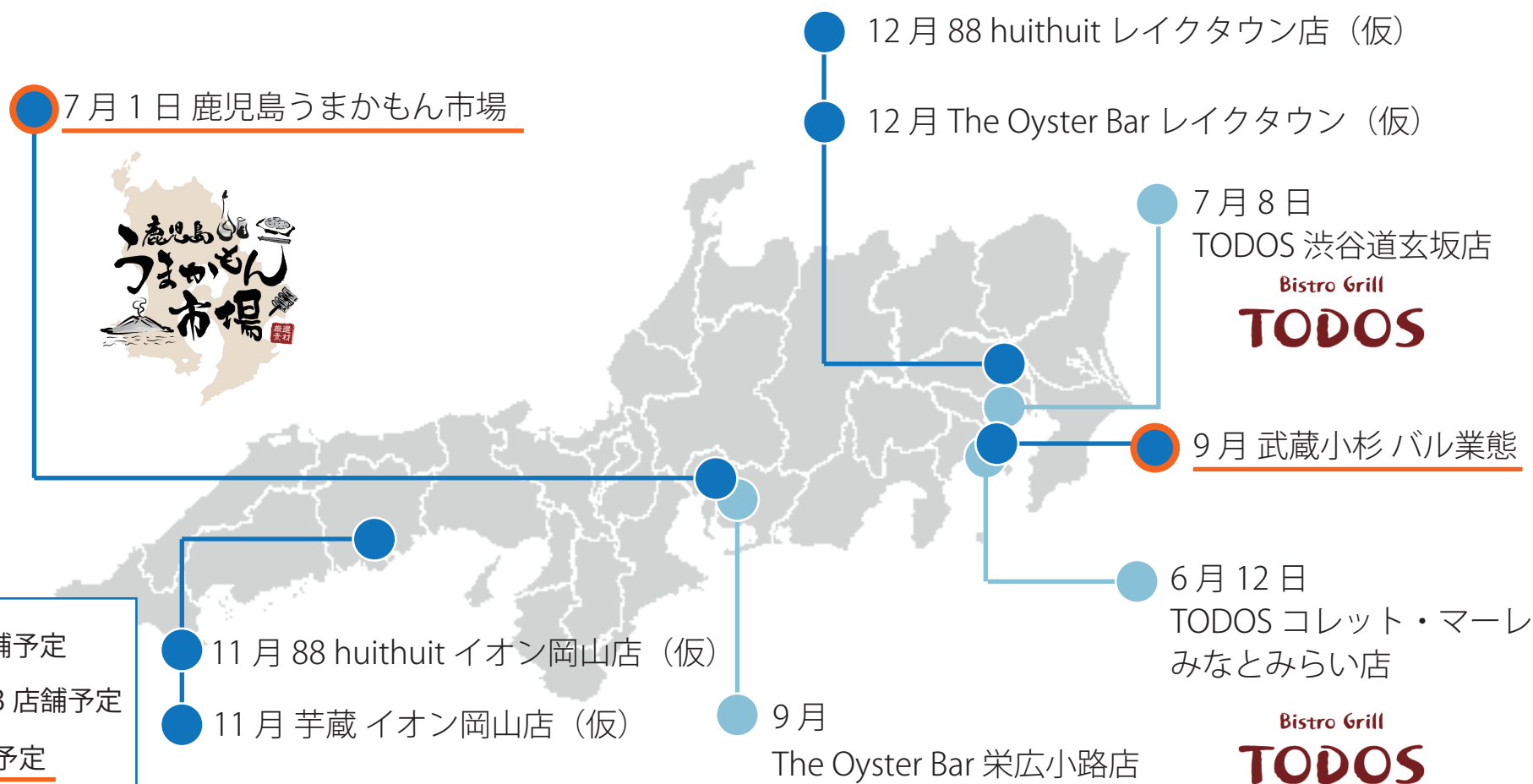
3. 今後の取り組み



第2四半期以降の出店状況

新規出店等

現時点で新規出店1店舗、リニューアル2店舗
今期出店の目玉となる「鹿児島うまかもん市場」がオープン
通期合計では新規出店16店舗、リニューアル6店舗を予定



コスト改革の進捗状況

原価改革

- ・ 芋蔵におけるレシピ統一、仕入れ食材統一は概ね終了
- ・ 芋蔵では標準原価管理も浸透し、管理レベルが向上
- ・ 他業態の展開へ準備を開始

人件費改革

- ・ 大量採用した新卒社員により一時的に人件費が増加
- ・ 新卒社員の戦力化に伴い、上記増加分は低減予定
- ・ 「1・1・2管理」は継続して取り組みを実施

販管費改革

- ・ 広告宣伝費は予算策定と、効率化により大幅に低減
- ・ 広告宣伝費の低減幅と集客状況についてモニタリングを実施中
- ・ その他消耗品、備品等についても大幅に低減

コスト改革は順調に進捗

今期の業績見通し

(百万円)

	2014年2月期 通期実績	2015年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	11,419	13,500	118.2
営業利益	△63	220	—
経常利益	△31	236	—
当期純利益	△139	89	—
配当金	中間 2.5円※ 期末 1円	中間 1円 期末 1円	

※2014年9月1日を効力発生日として1：200の株式分割を実施しているため、上記記載の配当金額は過去に遡及して算出しております。

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。